L-09C

ISSUE DATE: '12.1

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

NTT docomo

目次／注意事項
ご使用前の確認
セットアップ
インターネットに接続する
各種設定
海外利用
付録／困ったときには

はじめに

「L-09C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- L-09Cは、LTE・3G（HSDPA/HSUPA、W-CDMA）・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中で電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xiサービスエリアおよび FOMAサービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本立っている状態で移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなどして送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なる内容となって受信される場合があります。
- 本端末の誤動作、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末は、ドコモの提供するXiネットワーク、FOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  This terminal can be used only via Xi network, FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- 本端末では、ｉモード機能（ｉモードメール、ｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなど）には対応しておりません。

SIMロック解除

- 本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると、他社のSIMカードを使用することができます。
  - SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
  - 別途SIMロック解除手数料がかかります。
  - SIMロック解除には日数がかかりますので、あらかじめご了承ください。
  - 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
  - SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

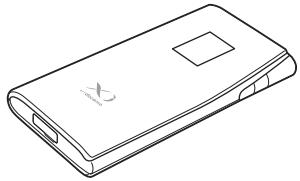
本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

■ 取扱説明書（PDFファイル）ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

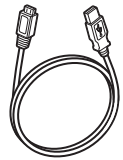
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品および主なオプション品

■L-09C本体（リアカバー L27、電池パック L13、保証書含む）



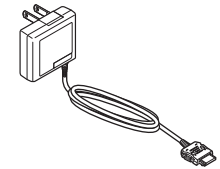
■USB接続ケーブル L01



■ACアダプタ L02（保証書付き）

■主なオプション品

- FOMA ACアダプタ 01／02※
  （保証書、取扱説明書付き）



※ 本端末と接続するには、FOMA充電microUSB変換アダプタ L01（別売）が必要です。

その他オプション品について（→P74）

本書の見かた／引きかた

記載内容について

L-09Cの取扱説明書は、『かんたんセットアップマニュアル』と『L-09C取扱説明書』（本書）で構成されています。

■『かんたんセットアップマニュアル』
本端末のゲーム機やiPod touchとの接続方法など、次の内容を記載しています。

- 本体付属品および主なオプション品
- ドコモUIMカードと電池パックを取り付ける
- 充電する
- 電源を入れる／切る
- 無線LAN端末を接続する
- 故障かな？と思ったら

■『L-09C取扱説明書』（本書）
本端末のパソコンとの接続方法や仕様、各種機能の設定方法など、次の内容を記載しています。
本書はPDFでの提供となります。ご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。

- 目次／注意事項
- ご使用前の確認
- セットアップ
- インターネットに接続する
- 各種設定
- 海外利用
- 付録／困ったときには

- この『L-09C取扱説明書』の本文中において、「L-09C」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- この『L-09C取扱説明書』の本文中において、「Windowsパソコン」「Mac」の総称を「パソコン」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- お使いの環境によっては、操作手順や画面が一部異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

目　次

本体付属品および主なオプション品……1
本書の見かた／引きかた……2
目 次……3
L-09Cの主な機能……4
安全上のご注意（必ずお守りください）……5
取り扱い上のご注意……14

ご使用前の確認 19	各部の名称と機能 ディスプレイの見かた ドコモUIMカードを使う 本端末から利用できる通信 microSDカードを使う パソコンへの取り付けかた／取り外しかた 電池パックの取り付けかた／取り外しかた 充電する 電源を入れる／切る
セットアップ 37	セットアップについて 無線LAN端末を接続する 各種の設定をする
インターネットに接続する 47	インターネット接続について インターネットに接続する
各種設定 49	設定ページ（L-09C Connection Manager）にログインする 本端末の接続状態や設定状態を確認する 無線LANの設定をする 接続先（Network）の設定をする セキュリティ機能を設定する システムを管理する
海外利用 67	国際ローミング（WORLD WING）の概要 海外で利用できるサービス 海外でご利用になる前の確認 通信事業者の検索方法を設定する 接続先（Network）を設定する
付録／困ったときには 73	オプション・関連機器のご紹介 故障かな？と思ったら こんな表示が出たら 保証とアフターサービス ソフトウェア更新 本端末をリセットする 主な仕様 輸出管理規制 知的財産権 索引

L-09Cの主な機能

「Xi」（クロッシィ）とは、LTE（Long Term Evolution）という国際標準化された通信規格に支えられたドコモのサービス名称です。
FOMA（Freedom Of Mobile multimedia Access）とは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして設定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

■ Xiデータ通信に対応

受信時最大75Mbps、送信時最大25Mbps※に対応しています。
※Xiエリアの一部に限ります。

- 対応エリアの詳細は、ドコモのホームページでご確認ください。通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- Xiエリア外の場合、FOMAエリアでもご利用いただけます。

■ FOMAハイスピードエリアに対応

受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbps（ベストエフォート方式）の高速パケット通信を楽しむことができます。

- 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- 送信時最大5.7Mbpsの対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。
- FOMA ハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。
- FOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。

■ 国際ローミングサービス対応

海外でも3Gネットワークを利用してデータ通信ができます。（→P68）

※ 「WORLD WING」は通常ご契約時にあわせてお申込みいただいておりますが、My docomo、ドコモショップおよびドコモ インフォメーションセンターでご確認ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）..... P6
本端末の取り扱いについて..... P7
電池パックの取り扱いについて..... P9
アダプタの取り扱いについて..... P10
ドコモUIMカードの取り扱いについて..... P12
医用電気機器近くでの取り扱いについて..... P12
材質一覧..... P13

本端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながら長時間使用すると、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

本端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
内部の物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
- 各箇所の材質について（→P13「材質一覧」）

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- ●手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- ●病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- ●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	前面	PC／塗装仕上げ （HKD#NEO CLEAN1000）
	上部／背面	PC／塗装仕上げ（UV# 2000）
リアカバー		PC／塗装仕上げ （HKD#NEO CLEAN1000）
側面上部装飾		亜鉛合金／メッキ仕上げ
サイドキー		ABS／メッキ仕上げ
電源ボタン		PC／塗装仕上げ （HDK#NEO CLEAN1000）
外部接続端子カバー		PC／塗装仕上げ（UV#2000）
ディスプレイ表面		アクリル／ハードコーティング

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■水をかけないでください。
本端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタの破損、故障の原因となります。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■USB接続ケーブルで本端末とパソコンを接続している場合、移動するときは、本端末をパソコンから取り外してください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■通常は外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DC アダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- 周波数帯について
  WLAN 搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

  2.4：　2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
  DS：　変調方式がDS-SS方式であることを示します。
  OF：　変調方式がOFDM方式であることを示します。
  4：　想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示します。
  ■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
  利用可能なチャンネルは国により異なります。
  WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
  航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

注意

■改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊣」が本端末の銘版シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

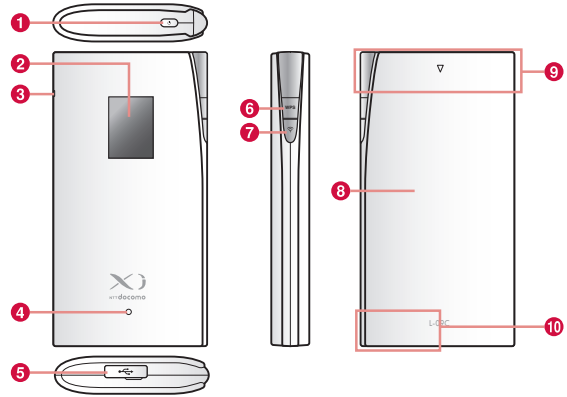
■通信中は、本端末を身体から 15mm 以上離してご使用ください。

■基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認

各部の名称と機能 …… 20
ディスプレイの見かた …… 21
ドコモUIMカードを使う …… 22
本端末から利用できる通信 …… 24
microSDカードを使う …… 26
パソコンへの取り付けかた／取り外しかた …… 29
電池パックの取り付けかた／取り外しかた …… 32
充電する …… 34
電源を入れる／切る …… 36

各部の名称と機能



❶ 電源ボタン（→P36）
- 押して電源を入れる／切るをします。

❷ ディスプレイ（→P21）

❸ ストラップ取り付け穴

❹ 充電ランプ
- 充電時に赤く点灯します。

❺ 外部接続端子
- ACアダプタ L02やUSB接続ケーブル L01を取り付けます。

❻ WPSボタン
- WPS機能を利用して、他の無線LAN端末を本端末の無線LANに接続するときに約1秒押します （WEP設定時には利用できません）。

❼ Wi-Fiボタン
- 約1秒押して省電力モードを設定／解除します。省電力モード中は、無線LAN機能およびネットワーク通信機能がオフになります。

❽ リアカバー L27
- リアカバー L27を取り付ける部分をリア部と呼びます。

❾ Xiアンテナ
- ネットワーク通信用アンテナは、本体に内蔵されています。

❿ Wi-Fiアンテナ
- 無線LAN用アンテナは、本体に内蔵されています。

お知らせ
- スチール製の机やテーブルなど、本端末を金属の上に置くと、アンテナの性能に影響して通信速度が遅くなることがあります。

ディスプレイの見かた

ディスプレイの画面に表示されるマーク（アイコン）の意味は次のとおりです（表示が消えているときはボタンを押します）。

❶ 電波の受信レベル

強 ◀――▶ 弱

圏外：サービスエリア外または電波が届かない状態

❷ 接続中のネットワークの種類

LTE：LTE

3G：3G（HSDPA/HSUPA、W-CDMA）

❸ 国際ローミング中

❹ ネットワークとの接続状態

：接続中

：未接続

：待ち受け状態

❺ 電池残量表示

多い ◀――▶ 少ない

点滅：電池残量がほとんどありません。充電してください。

❻ 無線LAN機能がオンの状態

無線LAN機能がオフになると表示が消えます。

❼ 無線LANに接続中の端末数

❽ WPS機能が利用できる状態（→P56）

❾ Wi-Fi auto off機能が設定されている状態（→P54）

❿ microSDカードが装着されている状態（→P26）

■ 表示画面

電池パックの充電状態や無線LANの状態、接続ネットワーク名などの情報が表示されます（以下は画面の一例です）。

充電中

WPS機能の実行中

電池残量がない

無線LANの起動中

無線LAN切断中

接続ネットワーク名の表示

ネットワークサービス圏外

ドコモUIMカードを使う

ドコモUIMカードは電話番号などお客様の情報が記録されているICカードのことで、本端末に取り付けないと、データ通信などを利用できません。ドコモUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

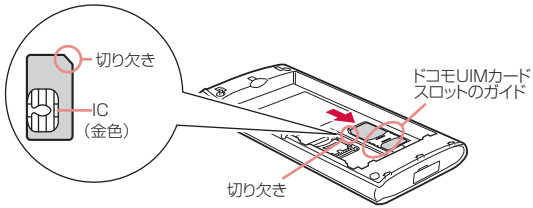
本端末では、FOMAカードはご使用できません。FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。

取り付けかた

ドコモUIMカードを取り付けるときは、両手で持って行ってください。

- ドコモUIMカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます（→P32「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」）。

1 ドコモUIMカードのIC面を下にして、矢印の方向でドコモUIMカードスロットのガイドの下に差し込む

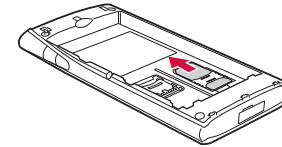


取り外しかた

ドコモUIMカードを取り外すときは、両手で持って行ってください。

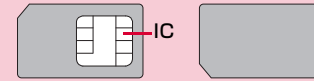
- ドコモUIMカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り外します（→P32「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」）。

1 ドコモUIMカードを矢印の方向にスライドさせて取り外す



お知らせ

- 取り外したドコモUIMカードはなくさないようにご注意ください。
- 必ずドコモUIMカードの各面を確認してください。



- ドコモUIMカードのICに触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。
- ドコモUIMカードを逆向きに挿入すると、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、ドコモUIMカードが破損する場合があります。
- パソコンに本端末が接続されている状態で、ドコモUIMカードの取り付けまたは取り外しをしないでください。故障の原因となります。

暗証番号

ドコモUIMカードにはPIN1コードという暗証番号があり、ご契約時は［0000］に設定されています。PIN1コードは第三者による無断使用を防ぐため、本端末の電源を入れるとき、ユーザーを認識するための4～8桁の暗証番号です。

お客様のドコモUIMカードがPIN1コードを確認する設定になっている場合は、そのままデータ通信をすることができません。PIN1コードを確認してから利用するか、あらかじめドコモUIMカードの設定を、PIN1コードを確認しない設定（→P60）にしてから使用してください。

■ PIN1コードの変更

お客様のお好みで、番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。
なお、PIN1コード入力を3回連続して失敗すると自動的にロック（PIN1 ロック）されますので、設定した番号はメモを控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。

- 「暗証番号を変更する（Modify PIN code)」（→P61）

■ PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。ご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。なお、お客様ご自身では変更できません。PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、ドコモUIMカードがロックされます。

ご注意

- 設定するPIN1コードは「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定したPIN1コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- PIN1コードは、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一PIN1コードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- PIN1コードを忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PIN ロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

設定ページ（L-09C Connection Manager）に
ログインするとPIN1コード確認を表示

⇩

PIN1コードを入力

3回連続入力失敗

⇩

PINロック解除コードを入力

OK　　10回連続入力失敗

⇩　　⇩

新しいPIN1コードを
設定可能

ドコモショップ窓口に
お問い合わせください。

本端末から利用できる通信

基本的な使いかた

無線LAN機能が搭載されているパソコンやゲーム機などと最大10台まで同時に接続し、受信最大37.5Mbps、送信最大12.5Mbps（Xiエリア内一部の屋内施設では受信最大75Mbps、送信最大25Mbps）の速度でデータ通信を行うことができます。

※　通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

無線LAN

本端末は無線LAN（IEEE 802.11 b/g/n）に対応したパソコンやゲーム機などを最大10台まで接続できます。

- 本端末は、WPS機能に対応しています。お使いの無線LAN端末がWPS機能に対応している場合には、無線LAN接続のセットアップを簡単に行うことができます（→P45「WPS対応の無線LAN端末を接続する」）。
- 本端末は無線LANアクセスポイントへ接続できません。

Xiデータ通信／FOMAパケット通信

送受信したデータ量に応じて課金される通信方式です。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、Xiデータ通信（LTE）またはFOMAパケット通信（3G）に対応した接続先を利用して、受信最大37.5Mbps、送信最大12.5Mbps（Xiエリア内一部の屋内施設では受信最大75Mbps、送信最大25Mbps）の速度でデータ通信を行うことができます。

※ 受信時最大75Mbpsは、Xiエリア内一部の屋内施設での速度です。屋外エリアでは、受信時最大37.5Mbps、送信時最大12.5Mbpsとなります。

※ 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

- Xiエリアの帯域幅により規格上の通信速度は、受信速度（帯域幅［20/15/10/5MHz］）：100/100/75/37.5Mbps、送信速度（帯域幅［20/15/10/5MHz］）：50/37.5/25/12.5Mbpsとなります。
- XiエリアのFOMAハイスピードエリアにおいては、受信最大7.2Mbps／送信最大5.7Mbpsの通信となります。
- XiエリアおよびFOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。
- アクセスポイントや電波状況によって通信速度は異なります。
- 海外でご利用の場合は、利用する海外事業者やネットワークにより通信速度が異なります。

お知らせ

- 画像を多く含むホームページの閲覧、大容量ダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、高額の通信料がかかりますのでご注意ください。
- ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなることがあります。また、特にご利用の多いお客さま（当日を含む直近3日間のデータ通信量が約380MB以上）は、それ以外のお客さまと比べて通信が遅くなることがあります。なお、一定時間内または1回の接続で大量のデータ通信があった場合、長時間接続した場合、一定時間内に連続で接続した場合は、その通信が中断されることがあります。
- 64Kデータ通信には対応しておりません。
- 本端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- 本端末は、FAX通信には対応していません。

利用にあたっての留意点

■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、利用するインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、Xiサービス利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などが利用できます。

「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

mopera Uのサービス内容および接続設定方法については、mopera Uのホームページをご確認ください。

http://www.mopera.net/

■ ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。

IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容についてはそちらにお問い合わせください。

■ 通信条件

本端末で通信を行うには、次の条件が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信できないことがあります。

- Xiのネットワーク、FOMAのネットワーク、またはドコモのローミングサービスエリア内であること
- アクセスポイントがXiデータ通信またはFOMAパケット通信に対応していること

microSDカードを使う

本端末にmicroSDカードを取り付けることにより、USB接続ケーブルで本端末とパソコンを接続して、本端末をmicroSDカードリーダー／ライターとして利用することができます。

microSDカード使用時の注意

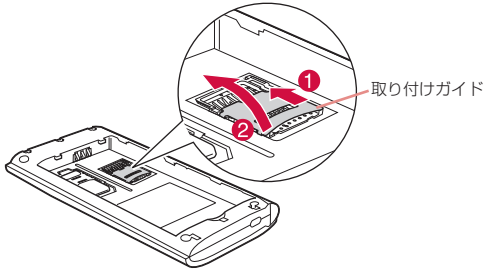
- 本機能は、無線LANで接続した端末からは利用できません。
- 本端末では市販2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年1月現在）。対応のmicroSDカードは各microSDメーカへお問い合わせください。
- 市販されているすべての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードは、事故や故障によってデータを消失または変形してしまうことがあります。大切なデータは控えを取っておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データの読み込みや書き込み中に、本端末の電源を切らないでください。
- データの読み込みや書き込み中、付属のUSB接続ケーブルを抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- ラベルやシールなどを貼って使用しないでください。ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因になることがあります。
- 金属端子部分には手や金属などで触れたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- microSDカードを取り外した後は、乳幼児の手の届く場所には放置しないでください。誤って飲み込んでしまい、けがなどの原因となります。

取り付けかた

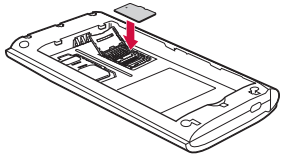
microSDカードを取り付けるときは、両手で持って行ってください。

- microSDカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます（→P32「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」）。

1 microSDカードの取り付けガイドを「カチッ」と音がするまで「OPEN」の方向（❶）にスライドさせ、❷の方向に持ち上げる

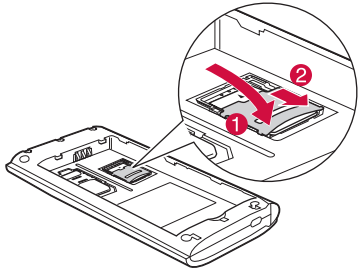


2 microSDカードのラベル面を上にし、金属端子部分と本端末の端子部分とが合うようにして取り付け部にはめ込む



3 取り付けガイドを完全に下ろし（❶）、「カチッ」と音がするまで「LOCK」の方向（❷）にスライドさせる

- 取り付けガイドは、必ずしっかり下ろしてロックしてください。下ろし方やロックが不完全な状態で電源パックを取り付けたりすると、取り付けガイドの破損の原因となります。

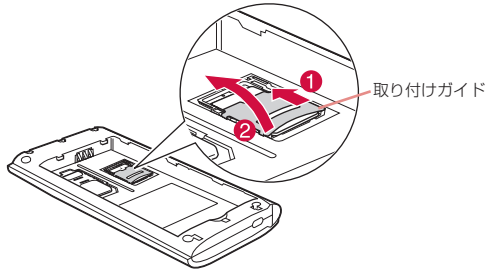


取り外しかた

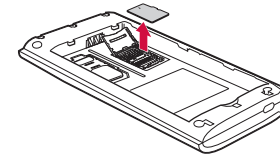
microSDカードを取り外すときは、両手で持って行ってください。

- microSDカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り外します（→P32「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」）。

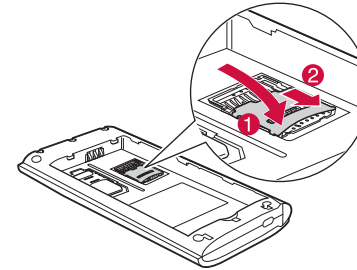
1 **microSDカードの取り付けガイドを「カチッ」と音がするまで「OPEN」の方向（❶）にスライドさせ、❷の方向に持ち上げる**



2 **microSDカードを取り外す**



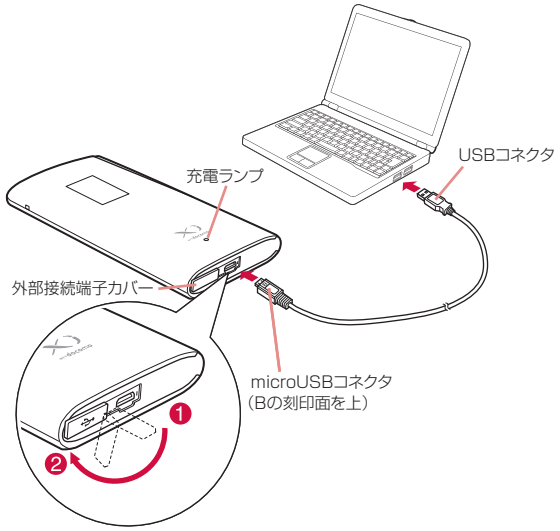
3 **取り付けガイドを完全に下ろし（❶）、「カチッ」と音がするまで「LOCK」の方向（❷）にスライドさせる**



パソコンへの取り付けかた／取り外しかた

本端末にmicroSDカードを取り付けて本端末をmicroSDカードリーダー／ライターとして利用するときや、本端末をUSB接続ケーブル L01を使って充電するときは、本端末をパソコンへ取り付けます。

取り付けかた



1 パソコンの電源を入れる

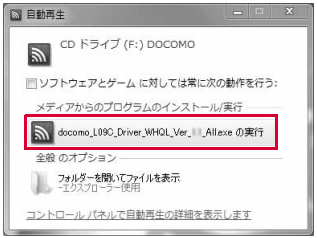
2 本端末の外部接続端子カバーを開き（❶）、端子部が見えるように回転させる（❷）

3 USB接続ケーブル L01のmicroUSBコネクタをBの刻印されている面を上にして本端末の外部接続端子へ水平に差し込む

4 USB接続ケーブル L01のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- お買い上げ時初めて接続するときは、Windows 版のみゼロインストール機能により、L-09Cドライバのセットアップ画面が自動で表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。※

  OSの設定によっては「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「docomo_L09C_Driver_WHQL_Ver_X.X_All.exe」を選択し、[はい]または[続行]をクリックしてください。

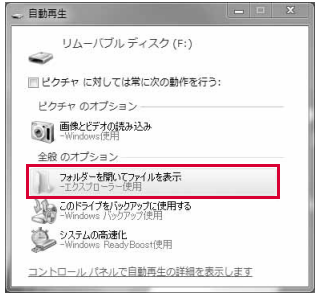


  インストールが完了すると、デスクトップにショートカットアイコンが表示されます。アイコンをダブルクリックすると、設定ページ（L-09C Connection Manager）を表示することができます。

  - ショートカットアイコンは、本端末のプライベート IP アドレスの初期設定（http://192.168.2.1/）に固定されています。設定を変更しているときは、ショートカットアイコンに変更が反映されず、使用できません。Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に変更したプライベートIPアドレスを入力してください。

充電ランプが点灯し、充電が開始されます。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

OSの設定によっては「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「フォルダを開いてファイルを表示」を選択してください。



※ ドライバのインストール中にキャンセルをしたり、本端末を取り外したりしないでください。ドライバをインストールしないとソフトウェア更新（→P80）を行うことができません。

取り外しかた

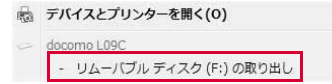
本端末にmicroSDカードを取り付けているときは、以下の操作を行ってください。

- microSDカードを取り付けていないときは、以下の操作は不要です。そのままUSB接続ケーブルL01を取り外してください。

Windows 7の場合

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

1 タスクトレイの をクリックし、「リムーバブルディスクの取り出し」をクリックする



2 本端末が安全に取り外し可能なことが表示されたら、パソコンからUSB接続ケーブル L01を取り外す

3 本端末からUSB接続ケーブル L01を取り外す

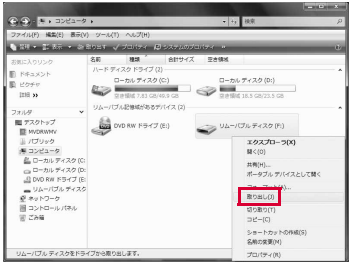
Windows VistaおよびWindows XPの場合

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

1 デスクトップの（コンピュータ）アイコンをダブルクリックする

Windows XPの場合はマイコンピュータをダブルクリックします。

2 「リムーバブル ディスク」アイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックする



3 「リムーバブル ディスク」アイコンをダブルクリックする

下記の画面が表示されたら、本端末を安全に取り外すことができます。

4 「キャンセル」をクリックし、パソコンからUSB接続ケーブル L01を取り外す

5 本端末からUSB接続ケーブル L01を取り外す

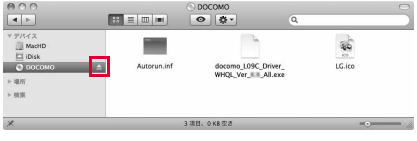
Macの場合

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

1 をクリックして、Finderの画面を表示する

2 「DOCOMO」の取り出しアイコン（）をクリックする

デスクトップの「DOCOMO」アイコンをゴミ箱へドラッグしても取り出せます。



3 microSDカードの取り出しアイコン( )をクリックする

デスクトップのmicroSDカードのアイコンをゴミ箱へドラッグしても取り出せます。

4 FinderまたはデスクトップにあるmicroSDカードのアイコンが消えたら、パソコンからUSB接続ケーブル L01を取り外す

5 本端末からUSB接続ケーブル L01を取り外す

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

本端末をお使いになる前に、電池パックを取り付けてください。

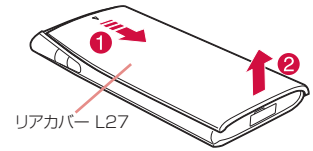
お知らせ

- 電池パックを取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから取り外してください。電源が入った状態で取り外すと、本端末が正常に動作しなくなることがあります。

取り付けかた

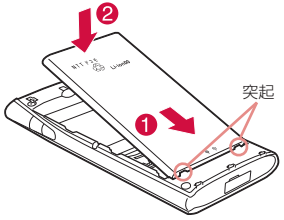
電池パックを取り付けるときは、両手で持って行ってください。

1 リアカバー L27を❶の方向へスライドさせ、❷の方向に持ち上げて取り外す

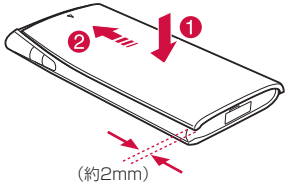


2 電池パックの「♲」と記載されている面を上にして、電池パックと本端末の金属端子が合うように❶の方向に取り付けてから、❷の方向へはめ込む

本端末の突起と電池パックのくぼみが合うようにはめ込んでください。



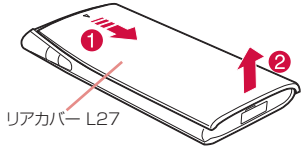
3 リアカバー L27を約2mmずらした状態で本端末の溝に合わせ、❶の方向に押し付けながら❷の方向へスライドさせ、カチッと音がするまで押し込む



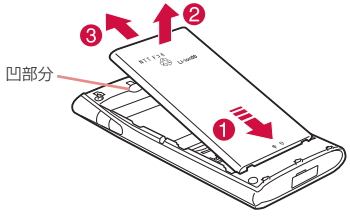
取り外しかた

電池パックを取り外すときは、両手で持って行ってください。

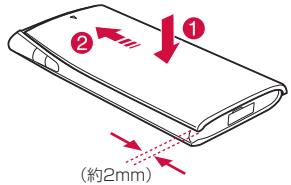
1 リアカバー L27を❶の方向へスライドさせ、❷の方向に持ち上げて取り外す



2 本端末の凹部分から電池パックに指などをかけて❶の方向に押し付けながら、❷の方向へ持ち上げ、❸の方向に取り外す



3 リアカバー L27を約2mmずらした状態で本端末の溝に合わせ、❶の方向に押し付けながら❷の方向へスライドさせ、カチッと音がするまで押し込む



充電する

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに 1 回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながら通信を行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion00

■ 充電について

- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。またACアダプタ L02、FOMA ACアダプタ 02、FOMA海外兼用ACアダプタ 01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタ L02のプラグ形状はAC100V（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックを本端末に取り付けた状態でないと充電できません。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間本端末の電源が入らない場合があります。
- 充電中に通信を行ったとき、本端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。この場合は、本端末の電源を切り、本端末の温度が下がるのを待ってから充電を行ってください。

- 使用状況によっては、電池残量が 100% になる前に充電が停止する場合があります。この場合、一旦電池パックを取り外してから再度取り付けてください。充電を継続させることができます。
- 充電中に電池パックを取り外さないでください。充電中に電池パックを取り外してしまった場合、その後正常に電源を入れたり、充電することができません。このようなときは一旦本端末から電池パックやケーブル類をすべて取り外し、再度接続し直してください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電時に本端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、本端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐにバッテリーが切れることがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、一旦本端末からACアダプタ、DCアダプタを取り外して、再度接続し直してください。

■ 電池パックの使用時間および充電時間の目安

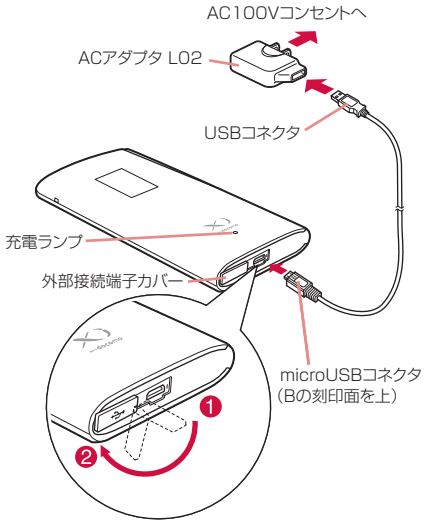
使用時間は使用環境、電池の劣化度によって異なります。

連続通信時間	LTE	約6時間
	3G（HSDPA/HSUPA、W-CDMA）	約8時間
連続待受時間		約210時間
充電時間	ACアダプタ	約300分
	USB	約390分

- 連続通信時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通信に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通信時間や動作時間が約半分程度になったりする場合があります。
- 滞在国のネットワーク状況によっては、記載値より短くなることがあります。
- 充電時間の目安は、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。
  本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタを使って充電する

付属のACアダプタ L02とUSB接続ケーブル L01を使って充電する方法を説明します。



1 本端末の外部接続端子カバーを開き（❶）、端子部が見えるように回転させる（❷）

2 USB接続ケーブル L01のUSBコネクタをACアダプタ L02に接続し、microUSBコネクタをBの刻印されている面を上にして本端末の外部接続端子へ水平に差し込む

3 ACアダプタ L02の電源プラグをコンセントに差し込む

充電ランプが点灯し、充電が開始されます。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

充電が終わったら、ACアダプタ L02のコネクタを水平に引き抜き、外部接続端子カバーを閉じます。

- ACアダプタ L02のコネクタの抜き差しは、向き（表裏）を確かめて水平に行ってください。無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。
- FOMA ACアダプタ 01／02（別売）とFOMA充電microUSB変換アダプタ L01（別売）を使用して充電することもできます。

パソコンを使って充電する

本端末をUSB接続ケーブル L01を使ってパソコンと接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

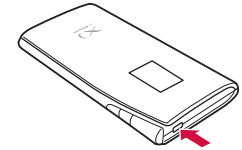
- パソコンとの接続のしかたは、「パソコンへの取り付けかた／取り外しかた」（→P29）を参照してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源が切れている状態で、電源ボタンを押す

電源を入れると無線LAN機能が自動的にオンになり、ネットワークの検索が開始されます。ネットワークに接続されると、ディスプレイに接続先のネットワーク名が表示されます。



電源を切る

1 電源が入っている状態で、電源ボタンを約1秒押す

セットアップ

セットアップについて …… 38
無線LAN端末を接続する …… 39
各種の設定をする …… 45

セットアップについて

本端末をお使いになる前に、お使いの無線LAN端末を本端末の無線LANに接続するための設定を行います。
また、無線LANや各種機能の設定を、お使いの環境に合わせて変更することができます。

動作環境を確認する

本端末を利用するための動作環境は以下のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機、および、Mac ディスプレイ解像度800x600ドット、 High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	Windows XP 各種Edition SP3以降 Windows Vista 各種Edition SP2以降 Windows 7 各種Edition SP1以降 Mac OS 10.5.8/10.6.7以降（インテル製CPUのみ）
必要メモリ※2	Windows XP：512MB以上推奨（最低256MB） Windows Vista：1GB以上推奨（最低512MB） Windows 7：1GB以上（32 ビット）、2GB以上（64ビット） Mac OS：512MB以上推奨(最低256MB)
ハードディスク容量※2	100MB以上の空き容量

※1 OS のアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
※2 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。

お知らせ

- お客様の環境・機器によっては、ご使用になれない場合があります。また動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

セットアップの流れ

セットアップの流れは、以下のとおりです。

お使いになる無線LAN端末を本端末の無線LANに接続する （→P39）

↓

インターネット接続の設定をする （→P48）

- mopera Uに接続してお使いになる場合は、この設定は不要です。
- 設定方法については、「接続先の設定を登録する（Profile）」（→P59）を参照してください。

お知らせ

- 本端末の設定を変更する場合は、最初にパソコンを接続し、設定を変更してからその他の無線LAN端末を接続してください。
  ※なお、ブラウザが搭載されている端末であれば、パソコン以外であっても端末本体の設定変更が可能です。ただし、一部利用できないメニューがあります。また、ブラウザの種別によっては、ご利用いただけない場合があります。

無線LAN端末を接続する

お使いの無線LAN端末によって設定手順が異なります。ここでは、以下の各端末の設定手順を説明します。

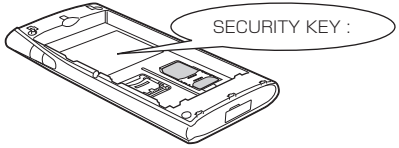
- Windowsパソコン(Windows 7およびWindows Vistaの場合)(→P39)
- Windowsパソコン（Windows XPの場合）(→P40)
- Mac（→P41）
- iPad （→P42）
- iPod touch （→P43）
- ニンテンドー DS （→P43）
- PSP （→P44）
- WPS対応の無線LAN端末 （→P45）

お知らせ

- これらの設定は、各端末を初めて接続するときに行ってください。一度設定すると、電源を入れるだけで自動的に接続されるようになります。
- WPS機能を使用しないで接続する場合には、本端末に設定された「事前共有キー （WPA2 shared key)」を入力する必要があります。(→P39) あらかじめご確認の上、設定を行ってください。
- 本端末は、同時に最大10台までの無線LAN端末を接続できます。

■ 事前共有キー (WPA2 shared key) 記載位置

電池パックを外すと、本体内部のシールに事前共有キー (WPA2 shared key) が記載されています（→P32「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」)。



Windowsパソコンを接続する

本端末のセキュリティモードが「WPA2-PSK/AES」に設定されている場合の設定手順を例に説明しています。

Windows 7およびWindows Vistaの場合

1 本端末の電源ボタンを押す

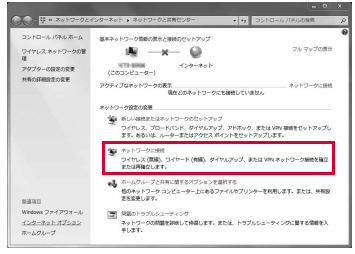
本端末の電源が入り、無線LAN機能がオンになります。

2 パソコンの無線LAN機能をオンにする

3 (スタート)▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークと共有センター」を順にクリックする

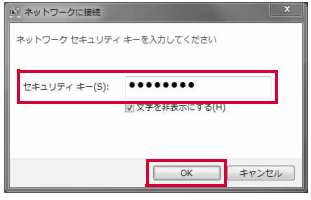
「ネットワークと共有センター」ウィンドウが表示されます。

4 「ネットワークに接続」をクリックする



5 本端末に設定したSSID(初期設定:「L09C_XXXXXXXX」、→P53)が表示されている項目をクリックし、「接続」をクリックする

6 「セキュリティキーまたはパスフレーズ」に、本端末に設定されている事前共有キー(WPA2 shared key)(→P39)を入力し、「OK」をクリックする



7 「このネットワークを保存します」と「この接続を自動的に開始します」を選択し、「閉じる」をクリックする

Windows 7の場合、手順7は不要です。

Windows XPの場合

1 本端末の電源ボタンを押す

本端末の電源が入り、無線LAN機能がオンになります。

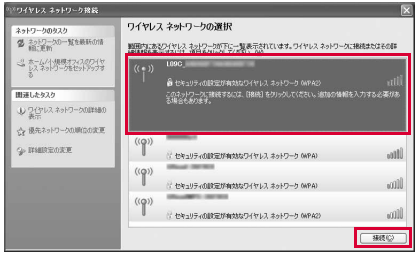
2 パソコンの無線LAN機能をオンにする

3 スタート▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット接続」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

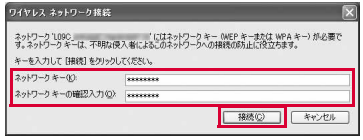
4 「ワイヤレス ネットワーク接続」をダブルクリックする

「ワイヤレス ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

5 本端末に設定したSSID(初期設定:「L09C_XXXXXXXX」、→P53)が表示されている項目をクリックし、「接続」をクリックする



6 「ネットワーク キー」および「ネットワーク キーの確認入力」に、本端末に設定されている事前共有キー（WPA2 shared key）（→P39）を入力し、「接続」をクリックする



Macを接続する

本端末のセキュリティモードが「WPA2-PSK/AES」に設定されている場合に、Mac OS X 10.6で設定する手順を例に説明しています。

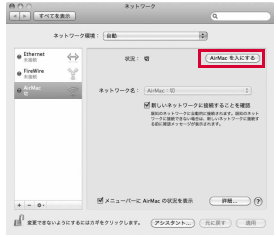
1 本端末の電源ボタンを押す

本端末の電源が入り、無線LAN機能がオンになります。

2 アップルメニューの「システム環境設定…」▶「ネットワーク」をクリックする

3 「AirMac」を選択し、「AirMacを入にする」をクリックする

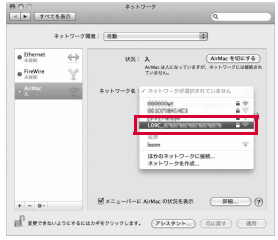
Macの無線LAN機能がオンになります。



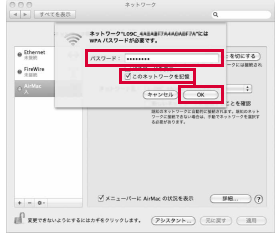
お知らせ

- 「すべての優先するネットワークを利用できません」というメッセージが表示された場合は、「キャンセル」をクリックし、「新しいネットワークに接続することを確認」をクリックして選択を解除してください。

4 「ネットワーク名」をクリックし、本端末に設定したSSID(初期設定:「L09C_XXXXXXXX」、→P53)が表示されている項目を選択する



5 「パスワード」に、本端末に設定されている事前共有キー(WPA2 shared key)(→P39)を入力し、「このネットワークを記憶」を選択し、「OK」をクリックする



6 「ネットワーク名」に本端末のSSIDが表示されていることを確認し、「適用」をクリックする

iPadを接続する

本端末のセキュリティモードが「WPA2-PSK/AES」に設定されている場合に、iPadで設定する手順を例に説明しています。

1 本端末の電源ボタンを押す

本端末の電源が入り、無線LAN機能がオンになります。

2 iPadのホーム画面で「設定」をタップする

3 「Wi-Fi」をタップし、Wi-Fiを「ON」にする

4 本端末に設定したSSID(初期設定:「L09C_XXXXXXXX」、→P53)が表示されている項目をタップする

5 本端末に設定されている事前共有キー(WPA2 shared key)(→P39)を入力し、「Join(接続)」をタップする

iPod touchを接続する

本端末のセキュリティモードが「WPA2-PSK/AES」に設定されている場合に、iPod touchで設定する手順を例に説明しています。

1 本端末の電源ボタンを押す

本端末の電源が入り、無線LAN機能がオンになります。

2 iPod touchのホーム画面で「設定」をタップする

3 「Wi-Fi」をタップし、Wi-Fi を「ON」にする

4 本端末に設定したSSID（初期設定：「L09C_XXXXXXXX」、→P53）が表示されている項目をタップする

5 本端末に設定されている事前共有キー（WPA2 shared key）（→P39）を入力し、「Join」をタップする

ニンテンドー DS を接続する

本端末のセキュリティモードが「WPA2-PSK/AES」に設定されている場合に、ニンテンドー DSiで設定する手順を例に説明しています。

1 本端末の電源ボタンを押す

本端末の電源が入り、無線LAN機能がオンになります。

2 ニンテンドーDSiのDSiメニューで「本体設定」をタッチする

3 「インターネット」▶「接続設定」をタッチする

4 「上級者設定」▶「未設定」と表示されている接続先を1つタッチする

5 「アクセスポイントを検索」をタッチする

6 本端末に設定したSSID（初期設定：「L09C_XXXXXXXX」、→P53）が表示されている項目をタッチする

7 本端末に設定されている事前共有キー（WPA2 shared key）（→P39）を入力し、「OK」をタッチする

8 「OK」をタッチする

設定が保存されます。

9 「はい」をタッチする

接続テストが開始されます。

PSPを接続する

本端末のセキュリティモードが「WEP」に設定されている場合に、PSP-3000で設定する手順を例に説明しています。

お知らせ

- お買い上げ時のセキュリティモード「WPA2-PSK/AES」では接続できません。セキュリティモード（→P54）を変更してからお使いください。

1 本端末の電源ボタンを押す

本端末の電源が入り、無線LAN機能がオンになります。

2 PSPのワイヤレスLANスイッチをオンにする

3 ホームメニュー画面から、「設定」▶「ネットワーク設定」を選択し、「○」ボタンを押す

4 「インフラストラクチャーモード」を選択し、「○」ボタンを押す

5 「新しい接続の作成」を選択し、「○」ボタンを押す

6 「検索する」を選択し、方向キーの「▷」ボタンを押す

7 本端末に設定したSSID（初期設定：「L09C_XXXXXXXX」、→P53）が表示されている項目を選択し、「○」ボタンを押す

8 表示されたSSIDを確認し、方向キーの「▷」ボタンを押す

9 「WEP」を選択し、方向キーの「▷」ボタンを押す

10 「○」ボタンを押す

11 本端末に設定されているWEP key（→P54）を入力し、方向キーの「▷」ボタンを押す

12 表示された接続名を確認し、方向キーの「▷」ボタンを押す

WPS対応の無線LAN端末を接続する

お知らせ

- 無線LAN端末によって設定方法が異なります。お使いの無線LAN端末の取扱説明書をあわせて参照し、操作してください。
- お使いの無線LAN端末にWPS機能のPINコードが指定されている場合には、あらかじめ本端末の「WPS type」（→P56）で「WPS PIN」（→P56）を選択し、「WPS PIN」に指定されたPINコードを設定しておく必要があります。
- 本端末のセキュリティモードを「WEP」に設定しているときは、WPS機能を利用できません。
- 本端末の「WAN Ping blocking」（→P63）を有効に設定しているときは、WPS機能を利用できません。

1 **本端末の電源ボタンを押す**

本端末の電源が入り、無線LAN機能がオンになります。

2 **接続する端末の無線LAN機能をオンにし、必要に応じてWPS機能の設定をする**

お使いの端末によって操作が異なります。

3 **接続する端末でWPS機能の接続操作を行う**

お使いの端末によって操作が異なります。

4 **本端末のWPSボタンを約1秒押す**

5 **接続する端末で画面表示に従って設定する**

お使いの端末によって操作が異なります。

各種の設定をする

無線LANで接続したパソコンでWebブラウザを起動し、本端末の設定ページを表示して、本端末の設定をお使いの環境に合わせて変更することができます。

※ なお、ブラウザが搭載されている端末であれば、パソコン以外であっても端末本体の設定変更が可能です。ただし、一部利用できないメニューがあります。また、ブラウザの種別によっては、ご利用いただけない場合があります。

詳しくは、「各種設定」（→P49）を参照してください。

■ WLAN

無線LANの設定、およびLANの基本設定を変更できます。

■ NETWORK

接続先の設定やドコモUIMカードの設定を変更できます。

■ SECURITY

本端末のファイアウォール機能を設定できます。

■ SYSTEM

設定内容の保存やファームウェアバージョンの確認など、本端末の管理機能を利用できます。

インターネットに接続する

インターネット接続について ····· 48
インターネットに接続する ····· 48

インターネット接続について

本端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。
詳しくはドコモのホームページをご確認ください。

インターネットサービスプロバイダとの接続設定は、本端末のProfileに登録します。
設定方法について、詳しくは「接続先の設定を登録する（Profile）」（→P59）を参照してください。

- Profileは、最大10個まで登録できます。
- mopera Uに接続してお使いになる場合は、この設定は不要です。

インターネットに接続する

本端末の電源を入れると、Profileに設定された接続先に自動的に接続され、インターネットが利用できるようになります。お使いの無線LAN端末で、インターネットに接続されていることを確認してください。
複数のProfileを登録している場合の接続先の選択方法については、「接続先を選択する（Searching network）」（→P59）を参照してください。

各種設定

設定ページ（L-09C Connection Manager）にログインする …… 50
本端末の接続状態や設定状態を確認する …… 52
無線LANの設定をする …… 53
接続先（Network）の設定をする …… 59
セキュリティ機能を設定する …… 62
システムを管理する …… 63

設定ページ(L-09C Connection Manager)にログインする

無線LANで接続したパソコンでWebブラウザを起動し、本端末の設定ページ（L-09C Connection Manager）を表示して各種の機能を設定することができます。

お知らせ

- ブラウザが搭載されている端末であれば、パソコン以外であっても端末本体の設定変更が可能です。ただし、一部利用できないメニューがあります。また、ブラウザの種別によっては、ご利用いただけない場合があります。
- 本端末の設定ページは、以下のWebブラウザに対応しています。

  Windows：Microsoft Internet Explorer 6、7、8、9、
  Firefox、Chrome
  Mac OS X：Safari 3、4、5
  ※お使いのブラウザによっては、画面や項目が表示できない場合があります。

1 本端末の電源ボタンを押す

本端末の電源が入り、無線LAN機能がオンになります。

2 パソコンを起動し、無線LAN機能をオンにする

本端末とパソコンが無線LANで接続されます。

- 初めて接続するときは、無線LANのセットアップが必要です。「無線LAN端末を接続する」（→P39）を参照して、セットアップを行ってください。

3 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.2.1/」と入力して[Enter] キーを押す

「Login」画面が表示されます。

- 「192.168.2.1」は、本端末のプライベートIPアドレスの初期設定です。設定を変更しているときは、設定したプライベートIPアドレスを入力してください（→P57「DHCP機能を設定する（DHCP）」）。

4 [Username]欄に「Admin」と入力し、[Password]欄にログインパスワード(初期設定:「1234」)を入力して、[Login]をクリックする

- [Language]で、設定ページの表示言語を選択することができます。

設定ページの「Status」画面または「PIN verification」画面が表示されます。

5 「PIN verification」画面が表示された場合は、[PIN code] 欄にPIN1コードを入力して [Apply] をクリックする

PIN1コードについて、詳しくは「暗証番号」（→P23）を参照してください。

設定ページの「Status」画面が表示されます。

お知らせ

- セキュリティを確保するため、ログインパスワードの初期設定を変更することをお勧めします。詳しくは「ログインパスワードを変更する（Modify password）」（→P63）を参照してください。
- 設定ページの操作を５分以上行わないと、自動的にログアウトされます。保存していない設定データは破棄されますので、ご注意ください。

設定ページの画面について

❶ トップメニュー

メニュー項目をクリックして設定ページを切り替えます。
以下の項目を選択できます。

- STATUS（→P52）
- WLAN（→P53）
- NETWORK（→P59）
- SECURITY（→P62）
- SYSTEM（→P63）

選択した項目によっては、さらにサブメニューが表示され、設定画面を切り替えできます。

❷ [Logout]

設定ページからログアウトするときにクリックします。

❸ 設定画面

メニュー項目で選択した機能についての設定項目などが表示されます。

本端末の接続状態や設定状態を確認する

1 トップメニューの [STATUS] をクリックする

「Status」画面が表示されます。

- [Refresh] をクリックして情報を更新することができます。

Network selection※	接続中の帯域（Band）が表示されます。
Network name※	接続中のネットワーク名が表示されます。
Signal strength※	現在の受信レベルが表示されます。
Wi-Fi status	無線LAN機能の状態が表示されます。
Connected clients	現在の無線LANの接続端末数が表示されます。
Wi-Fi auto off	Wi-Fi auto off機能の設定状態が表示されます。
WPS	WPS機能の動作状態が表示されます。
UIM card	有効な UIM カードが取り付けられているかどうかが表示されます。
MicroSD card	microSDカードが取り付けられているかどうかが表示されます。
EDIT	クリックして、設定を変更できます。

※ドコモUIMカードが挿入されてない場合、項目は表示されません。また、「Status」画面には「ドコモUIMカードが挿入されていないか、有効ではありません。」と表示されます。

無線LANの設定をする

お知らせ

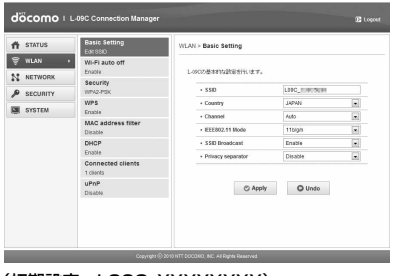
- 無線LANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

無線LANの基本機能を設定する（Basic setting）

1 トップメニューの [WLAN] をクリックする

2 サブメニューの [Basic setting] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する



SSID（初期設定：L09C_XXXXXXXX）
無線LANのネットワーク名（SSID）を設定します。
半角英数字、「-（ハイフン）」、「_（アンダーバー）」で、最大32文字まで入力できます。

Country（初期設定：JAPAN）
本端末を使用する国を選択します。
（JAPAN、KOREAを選択すると13チャンネルまで選択できます。CANADA、UNITED STATESを選択すると11チャンネルまで選択できます）

Channel（初期設定：Auto）
無線LANのチャンネルを選択します。

IEEE802.11 Mode（初期設定：11b/g/n）
無線LANの動作モードを選択します。

- 11b only
- 11b/g
- 11g only
- 11n only
- 11b/g/n

（セキュリティモード（→P54）を「WEP」に設定している場合、または「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」に設定して「TKIP」を選択している場合は、「11n only」と「11b/g/n」は選択できません）

SSID Broadcast（初期設定：Enable）
無線LAN端末でSSIDを表示できるかどうかを選択します。

- Enable：表示する
- Disable：表示しない

Privacy separator（初期設定：Disable）
無線LAN端末どうしの通信を禁止するかどうかを選択します。

- Enable：禁止する
- Disable：禁止しない

4 [Apply] をクリックして設定内容を保存する

Wi-Fi auto off機能を設定する（Wi-Fi auto off）

1 トップメニューの [WLAN] をクリックする

2 サブメニューの [Wi-Fi auto off] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する

Wi-Fi auto off（初期設定：Enable）
クライアントの接続が一定時間以上ない場合に自動的に無線LAN機能をオフにして、省電力モードにするかどうかを選択します。

- **Enable**：オフにする
- **Disable**：オフにしない

■ Enable設定時

Wi-Fi off time（初期設定：10）
Wi-Fi auto off で「Enable」を選択した場合に、自動的にオフにするまでの時間（分）を選択します。

- 10
- 30
- 60

4 [Apply] をクリックして設定内容を保存する

無線LANのセキュリティモードを設定する（Security）

1 トップメニューの [WLAN] をクリックする

2 サブメニューの [Security] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する

Security mode（初期設定：WPA2-PSK）
無線LANのセキュリティモードを選択します。

- **Open**
- **WEP**
- **WPA-PSK**
- **WPA2-PSK**
- **WPA/WPA2-PSK mixed**

Security modeの設定によって、以下の設定項目が異なります。

■ **Open設定時**

Limitation of clients（初期設定：1）
接続できる端末数が表示されます（変更できません）。

■ **WEP設定時**

WEP key1～4（初期設定：XXXXX）
WEPキーを入力します。
半角英数字で、10文字、26文字のキーを入力できます。
5文字または13文字のキーの場合には、16進数（0～9、A～F）で入力します。

Current WEP key（初期設定：1）
使用するWEP keyの番号を選択します。

Limitation of clients（初期設定：10）
接続できる端末数を選択します。

■ **WPA-PSK設定時**

Encryption type（初期設定：TKIP）
暗号化方式を選択します。

- AES
- TKIP

WPA shared key（初期設定：XXXXXXXX）
WPAの事前共有キーを入力します。
半角英数字で、8～64文字のキーを入力できます。
64文字のキーの場合には、16進数（0～9、A～F）で入力します。

Limitation of clients（初期設定：10）
接続できる端末数を選択します。

■ **WPA2-PSK設定時**

Encryption type（初期設定：AES）
暗号化方式を選択します。

- AES
- TKIP

WPA2 shared key（初期設定：→P39）
WPA2の事前共有キーを入力します。
半角英数字で、8～64文字のキーを入力できます。
64文字のキーの場合には、16進数（0～9、A～F）で入力します。

Limitation of clients（初期設定：10）
接続できる端末数を選択します。

■ **WPA/WPA2-PSK mixed設定時**

WPA/WPA2 shared key（初期設定：XXXXXXXX）
WPA/WPA2の事前共有キーを入力します。
半角英数字で、8～64文字のキーを入力できます。
64文字のキーの場合には、16進数（0～9、A～F）で入力します。

Limitation of clients（初期設定：10）
接続できる端末数を選択します。

4 [Apply] をクリックして設定内容を保存する

WPS機能を設定する（WPS）

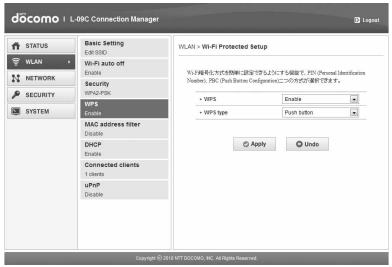
お知らせ

- 「Security」（→P54）を「WEP」に設定しているときは、WPS機能を利用できません。

1 トップメニューの [WLAN] をクリックする

2 サブメニューの [WPS] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する



WPS（初期設定：Enable）
WPS機能を利用するかどうかを選択します。

- **Enable**：利用する
- **Disable**：利用しない

■ Enable設定時

WPS type（初期設定：Push button）
WPS機能の方式を選択します。

- **Enable only**：方式を指定しない場合
- **Push button**：押しボタンが付いている場合
- **WPS PIN**：WPS用のPINコードが指定されている場合

■ WPS PIN設定時

WPS PIN
指定されているPINコードを入力します。

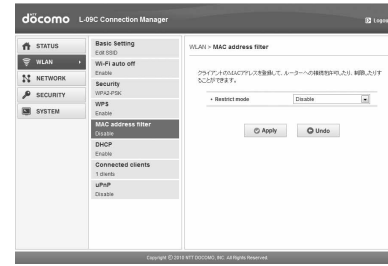
4 [Apply] をクリックして設定内容を保存する

MACアドレスフィルタを設定する（MAC address filter）

1 トップメニューの [WLAN] をクリックする

2 サブメニューの [MAC address filter] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する



Restrict mode（初期設定：Disable）
MACアドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。

- **Disable**：利用しない
- **Allow**：指定したMACアドレスの端末のみ接続を許可する
- **Deny**：指定したMACアドレスの端末との接続を禁止する

■ AllowまたはDeny設定時

MACアドレスの入力欄が表示されます。
指定する端末のMACアドレスを入力します。
最大10個のMACアドレスを指定できます。

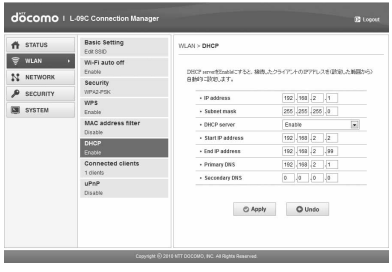
4 [Apply] をクリックして設定内容を保存する

DHCP機能を設定する（DHCP）

1 トップメニューの [WLAN] をクリックする

2 サブメニューの [DHCP] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する



IP address（初期設定：192.168.2.1）
本端末のプライベートIPアドレスを設定します。

Subnet mask（初期設定：255.255.255.0）
LANのサブネットマスクを設定します。

DHCP server（初期設定：Enable）
DHCP機能を利用するかどうかを選択します。

- **Enable**：利用する
- **Disable**：利用しない

■ Enable設定時

Start IP address（初期設定：192.168.2.2）
端末に割り当てる最小のIPアドレスを設定します。

End IP address（初期設定：192.168.2.99）
端末に割り当てる最大のIPアドレスを設定します。

Primary DNS（初期設定：192.168.2.1）
プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。

Secondary DNS
セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。

4 [Apply] をクリックして設定内容を保存する

無線LANの接続状態を確認する（Connected clients）

1 トップメニューの［WLAN］をクリックする

2 サブメニューの［Connected clients］をクリックする

3 接続中の端末の情報が表示される

- ［Refresh］をクリックして情報を更新することができます。

4 接続を解除する場合は、「Disconnect」欄の OFF をクリックする

uPnP機能を設定する（uPnP）

uPnP機能を利用するアプリケーションなどを使用する場合は、uPnP機能を「Enable」に設定してください。

1 トップメニューの［WLAN］をクリックする

2 サブメニューの［uPnP］をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する

uPnP（初期設定：Disable）
uPnP機能を利用するかどうかを選択します。

- **Enable**：利用する
- **Disable**：利用しない

4 ［Apply］をクリックして設定内容を保存する

接続先（Network）の設定をする

接続先を選択する（Searching network）

接続先のネットワークを指定することができます。

- 日本国内では、この機能は利用できません。

1 トップメニューの [NETWORK] をクリックする

2 サブメニューの [Searching network] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する

Mode（初期設定：Auto）
接続先を指定するかどうかを選択します。

- **Auto**：接続できる接続先が自動的に選択されます。
- **Manual**：接続先を指定する場合に選択します。[Apply] をクリックすると接続できる接続先が検索され、[Operators] に登録されます。

■ Manual設定時

Operators（初期設定：なし）
接続する接続先を選択します。

4 [Apply] をクリックして設定内容を保存する

接続先の設定を登録する（Profile）

接続先設定の登録、編集、削除を行います。最大10 個までの接続先を登録できます。

- お買い上げ時には、あらかじめmopera Uに接続するための設定が登録されており、削除することはできません。mopera Uをご利用になる場合は、以下の設定は不要です。

1 トップメニューの [NETWORK] をクリックする

2 サブメニューの [Profile] をクリックする

3 新しい接続先を登録する場合は、[Add New] をクリックする

■ 既存の接続先を編集する場合

❶ [Current profile] で編集する接続先を選択する
❷ 手順4の操作を行う
❸ 手順6の操作を行う

■既存の接続先を削除する場合

❶ [Current profile] で削除する接続先を選択する
❷ [Delete] をクリックする
❸ [OK] をクリックする

4 設定画面で各項目を設定する

Profile name（初期設定：なし）
任意の接続先名を入力します。

Username（初期設定：なし）
プロバイダが指定したユーザ名を入力します。

Password（初期設定：なし）
プロバイダが指定したパスワードを入力します。

Authentication（初期設定：CHAP）
接続先の認証方法を選択します。

- None
- PAP
- CHAP

APN（初期設定：Static）
接続先の選択方法を指定します。

- **Dynamic**：接続先が自動的に選択されます。
- **Static**：接続先を指定します。項目の下に表示された入力欄に、接続先のドメイン名を入力します。

IP type（初期設定：IPv4）
IP通信の方式が表示されます（変更できません）。

5 新しい接続先を登録する場合は、[Save]をクリックする

6 [Apply]をクリックして設定内容を保存する

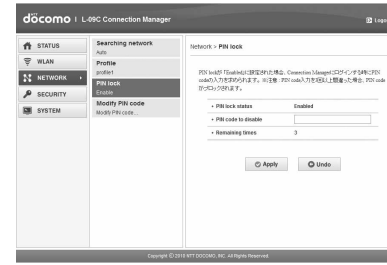
本端末を暗証番号で保護する（PIN lock）

この機能を設定すると、ネットワーク通信がロックされ、設定ページへのログイン時に暗証番号（PIN1コード）の入力が要求されます。

1 トップメニューの [NETWORK] をクリックする

2 サブメニューの [PIN lock] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する



PIN lock status
現在の設定状態が表示されます。

- **Enabled**：PIN lockが設定されている状態
- **Disabled**：PIN lockが解除されている状態

■Enabled設定時
PIN code to disable
ドコモUIMカードに設定されているPIN1コードを入力します。

■Disabled設定時
PIN code to enable
ドコモUIMカードに設定されているPIN1コードを入力します。

4 [Apply] をクリックする

5 「Enabled」に設定したときは、電源ボタンを約1秒押して本端末の電源を切り、再度電源を入れる

PINロックを解除する

PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード」（→P23）を入力し、ロックを解除してください。

1 [PUK code]欄にPINロック解除コードを入力する

PIN1 コード変更時にPIN1 コードの入力を3回連続して間違えてロックされた場合は、[PUK code to unblock]欄にPINロック解除コードを入力します。

2 [New PIN code]欄に新しく設定するPIN1コードを入力する

3 確認のため、[Confirm PIN code]欄に[New PIN code] と同じPIN1コードを入力する

4 [Apply]をクリックする

暗証番号を変更する（Modify PIN code）

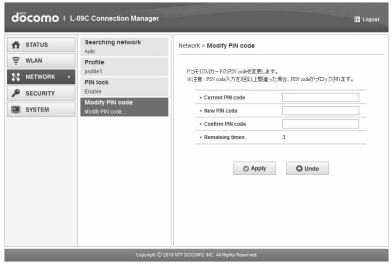
暗証番号（PIN1コード）を変更することができます。

- 暗証番号（PIN1コード）の変更は、PIN lock（→P60）が「Enabled」に設定されている場合のみ行えます。

1 トップメニューの [NETWORK] をクリックする

2 サブメニューの [Modify PIN code] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する



Current PIN code
ドコモUIM カードに設定されているPIN1コードを入力します。

New PIN code
新しく設定するPIN1コードを入力します。

Confirm PIN code
確認のため、[New PIN code] と同じPIN1コードを入力します。

4 [Apply] をクリックする

PIN1コードが変更されます。

セキュリティ機能を設定する

ファイアウォール機能を利用する（Firewall）

ファイアウォール機能を利用して、インターネットからの不正なアクセスを防止することができます。また、IPフィルタを設定することができます。

1 トップメニューの [SECURITY] をクリックする

2 サブメニューの [Firewall] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する

Firewall（初期設定：Disable）
ファイアウォール機能を有効にするかどうかを設定します。

- **Enable**：ファイアウォール機能を有効にします。IPフィルタの設定ができるようになります。
- **Disable**：ファイアウォール機能を無効にします。

■ Enable設定時
IPフィルタを設定できます。

IP address
IPフィルタを登録する場合に、送信元または宛先IPアドレスを入力します。

Direction（初期設定：Destination）
遮断する通信の方向を指定します。

- **Source**：指定したIPアドレスからのアクセスを遮断します。
- **Destination**：指定したIPアドレスへのアクセスを遮断します。

IP address filter list
登録されているIPフィルタの一覧が表示されます。

- OFF：登録されているIPフィルタを削除します。

4 [Apply] をクリックする

WAN側からのPingを破棄する（WAN Ping blocking）

WAN側からアクセスするPing要求を破棄して応答しないようにすることで、本端末やLAN側端末のIP情報の漏えいを防止することができます。

1 トップメニューの [SECURITY] をクリックする

2 サブメニューの [WAN Ping blocking] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する

WAN Ping blocking（初期設定：Disable）
WAN Ping blocking機能を有効にするかどうかを設定します。

- **Enable**：WAN Ping blocking機能を有効にする。
- **Disable**：WAN Ping blocking機能を無効にする。

4 [Apply] をクリックする

システムを管理する

ログインパスワードを変更する（Modify password）

設定ページのログイン用パスワードを変更することができます。パスワードは4桁の数字のみ設定可能です。

1 トップメニューの [SYSTEM] をクリックする

2 サブメニューの [Modify password] をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する

Current password
現在設定されているパスワードを入力します。

New password
新しく設定するパスワードを入力します。

Confirm password
確認のため、[New password] と同じパスワードを入力します。

4 [Apply] をクリックする

5 [OK] をクリックする

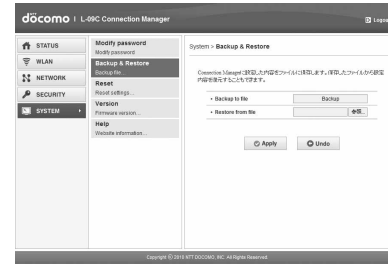
設定データの保存／読み込み（Backup & Restore）

設定ページのすべての設定データを、設定ページを開いているパソコンに保存することができます。また、保存した設定データを本端末に読み込むことができます。

1 トップメニューの [SYSTEM] をクリックする

2 サブメニューの [Backup & Restore] をクリックする

3 設定画面で以下の操作をする



Backup to file
[Backup] をクリックし、ファイル名を指定して、現在の設定内容を保存します。
※ お使いのブラウザによっては、ファイル名が指定できないことがあります。

Restore from file
[参照...] をクリックし、読み込むファイルを指定して、[Apply] をクリックします。

設定を初期化する（Reset）

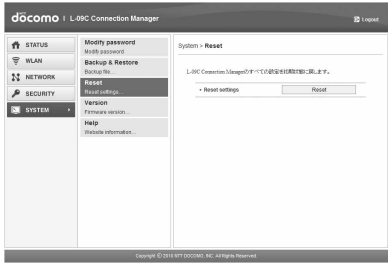
設定ページのすべての設定内容を、お買い上げ時の状態に初期化することができます。

- 本端末のボタン操作で初期化することもできます。詳しくは「本端末をリセットする」（→P82）を参照してください。

1 トップメニューの [SYSTEM] をクリックする

2 サブメニューの [Reset] をクリックする

3 [Reset] をクリックする



4 [OK] をクリックする

設定ページからログアウトされ、通信も切断されます。

バージョン情報を確認する（Version）

1 トップメニューの [SYSTEM] をクリックする

2 サブメニューの [Version] をクリックする

ファームウェアや本端末のバージョン情報が表示されます。

3 ソフトウェア更新について設定する

Check new software（初期設定：Auto）

- **Auto**：更新ファイルのチェックが自動的に行われるようになります。
- **Manual**：更新ファイルのチェックを手動で行うことができます。

■ Auto設定時

ログインすると、毎回ソフトウェア更新確認のメッセージが表示されます。メッセージを表示させないようにするには、「Manual」に設定してください。

■ Manual設定時

[Check now] をクリックすると更新ファイルの有無が確認され、新しい更新ファイルがある場合にはメッセージが表示されます。
更新方法については、「ソフトウェア更新」（→P80）を参照してください。

4 ソフトウェア更新の設定を変更したときは、[Apply] をクリックする

問い合わせ先を表示する（Help）

1 トップメニューの [SYSTEM] をクリックする

2 サブメニューの [Help] をクリックする

問い合わせ先のホームページの情報や電話番号、取扱説明書（PDFファイル）ダウンロードページのURLが表示されます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要 …… 68
海外で利用できるサービス …… 68
海外でご利用になる前の確認 …… 69
通信事業者の検索方法を設定する …… 70
接続先（Network）を設定する …… 71

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している本端末をドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。

■ 対応エリアについて

本端末は3Gネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。GPRSエリアではご利用いただけません。ご利用可能エリアをご確認ください。

- 海外で本端末をご利用いただく前に、以下を合わせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの『国際サービスホームページ』
- 海外ではXiエリア外のため3Gネットワークをご利用ください。

お知らせ

- ドコモのネットワークから他のネットワークに移動したとき、および他のネットワークからドコモのネットワークに移動したときには、最初に1回本端末が自動的に再起動されます。

海外で利用できるサービス

サービス	説　明
データ通信	パケット通信によるデータ通信が利用できます。

お知らせ

- 国際ローミング中に利用できる通信サービスについて詳しくは『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』または、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- L-09Cでは、日本国内含め、音声通話およびテレビ電話をご利用いただけません。

海外でご利用になる前の確認

STEP1：出発前の準備について
STEP2：滞在先での利用について
STEP3：帰国後の設定について

出発前の準備について

■ ご契約について
- 「WORLD WING」は通常ご契約時にあわせてお申込みいただいておりますが、My docomo、ドコモショップまたは取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先でご確認ください。
- 「WORLD WING」を契約したドコモUIMカードを本端末に取り付けておく必要があります。

■ 充電について
- 海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
- ACアダプタの取り扱い上のご注意について（→P10）
- ACアダプタでの充電方法について（→P35）

■ ネットワーク設定
- 海外でネットワークの設定を変更することができます。（→P71）

■ ご利用料金について
- 海外でのご利用料金（パケット通信料）は日本国内とは異なります。

■ インターネット利用について
- 海外でインターネットなどをご利用になる場合の海外アクセスポイントや設定方法については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
- mopera Uをご利用のお客様は、mopera Uのホームページをご覧ください。http://www.mopera.net/

滞在先での利用について

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について
- ドコモのネットワークから他のネットワークに移動したとき、および他のネットワークからドコモのネットワークに移動したときには、最初に1回本端末が自動的に再起動されます。
- 「接続先（Network）を設定する」（→P71）の「Searching network」を「Auto」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。
- 「Searching network」を手動で設定し、定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が定額（1日あたり）でご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービス、定額データプラン、またはXiデータ通信専用プランへのご加入が必要です。詳細は「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 手動で設定した事業者のサービスエリア外に移動した場合は「No service」と表示されます。サービスを再利用するためには、「Searching network」で接続可能な他の事業者を検索して選択するか、設定している事業者のサービスエリアに移動する必要があります。

■ 画面表示について
ネットワーク接続時は、現在接続している事業者の情報が表示されます。

お知らせ
- 無線LANを利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、必要に応じて無線LANの設定を変更してからご利用ください。（→P53）

海外でのお問い合わせについて

万が一、ドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の設定について

お買い上げ時の設定では、帰国後に自動的にXiエリアまたはFOMAエリアでご利用いただけます。

■ 接続について

- ドコモのネットワークから他のネットワークに移動したとき、および他のネットワークからドコモのネットワークに移動したときには、最初に1回本端末が自動的に再起動されます。

■ 接続できない場合

「接続先(Network)を設定する」(→P71)の「Searching network」を「Auto」に設定してください。

通信事業者の検索方法を設定する

接続する通信事業者を手動で切り替える

お買い上げ時は滞在先で利用できるネットワーク（通信事業者）を自動的に検索して接続します。ご利用になる地域のネットワークがわかっている場合や、自動で適切に検索できない場合は、接続するネットワークを手動で設定することもできます。詳しくは「接続先（Network）を設定する」手順3（→P71）を参照してください。

接続先（Network）を設定する

設定ページにログインし、ネットワーク関連の設定ができます。

1 設定ページにログインする

詳しくは、「設定ページ（L-09C Connection Manager）にログインする」（→P50）を参照してください。

2 トップメニューの [NETWORK] をクリックする

3 サブメニューの [Searching network] をクリックし、各項目を設定する

Mode※
接続先ネットワークを指定するかどうかを選択します。

- **Auto**：接続できるネットワークが自動的に選択されます。
- **Manual**：接続先ネットワークを指定する場合に選択します。[Apply] をクリックすると接続できる接続先が検索され、[Operators] に登録されます。

■ Manual設定時

Operators
接続するネットワークを選択します。

※ 渡航先で「Manual」に設定してネットワークを指定した場合は、帰国後に「Auto」に設定を戻してください。

4 [Apply] をクリックして設定内容を保存する

5 [Logout] をクリックする

お知らせ

- 海外で利用する場合
  - 「Searching network」を「Auto」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。
  - 使用する通信事業者やネットワークにより、利用できないサービスがあります。

付録／困ったときには

オプション・関連機器のご紹介 …… 74
故障かな？と思ったら …… 74
こんな表示が出たら …… 78
保証とアフターサービス …… 79
ソフトウェア更新 …… 80
本端末をリセットする …… 82
主な仕様 …… 83
輸出管理規制 …… 84
知的財産権 …… 86
索 引 …… 88

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- リアカバー L27
- 電池パック L13
- ACアダプタ L02
- USB接続ケーブル L01
- FOMA充電microUSB変換アダプタ L01
- FOMA ACアダプタ 01／02※1※2
- FOMA DCアダプタ 01／02※1※2
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1※2
- FOMA乾電池アダプタ 01※1
- FOMA 補助充電アダプタ 02※1
- キャリングケース 02
- 車内ホルダ 01

※1 本端末と接続するには、FOMA充電microUSB変換アダプタ L01が必要です。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。

故障かな？と思ったら

まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（→P80「ソフトウェア更新」）。
気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源、充電に関するトラブル

症　状	チェックする箇所
電源が入らない	電池パックが正しく取り付けられていますか。 （→P32）
	電池切れになっていませんか。 （→P21、P29、P35）
充電ができない	次のことをご確認ください。 （→P29、P32、P35） • 電池パックが正しく取り付けられていますか。 • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • ACアダプタ L02と本端末が正しくセットされていますか。 • ACアダプタ L02をご使用の場合、ACアダプタ L02のコネクタとUSB接続ケーブル L01がしっかりと接続されていますか。 • USB接続ケーブル L01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。

■ 端末操作に関するトラブル

症　状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	次のことをご確認ください。(→P34) • 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
ドコモUIMカードが認識しない	ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。(→P22)

■ 本端末が認識されない

症　状	チェックする箇所
USB接続ケーブル L01で接続したパソコンが本端末を認識しない	本端末が、USB接続ケーブル L01で正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。
	USB接続ケーブル L01をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。
	L-09C ドライバをアンインストールした後、再度接続してください。 **■ ドライバのアンインストール方法** **■ Windows7の場合** ❶(スタート)▶「コントロールパネル」▶「プログラム」▶「プログラムと機能」を順にクリックする ・「プログラムのアンインストールまたは変更」ウィンドウが表示されます。 ❷「docomo L09C」を選択し、「アンインストール」をクリックする ❸「OK」をクリックする ❹「OK」をクリックする **■ Windows Vistaの場合** ❶(スタート)▶「設定」▶「コントロールパネル」▶「プログラム」▶「プログラムと機能」を順にクリックする ・「プログラムのアンインストールまたは変更」ウィンドウが表示されます。 ❷「docomo L09C」を選択し、「アンインストール」をクリックする ❸「続行」をクリックする ❹「OK」をクリックする ❺「OK」をクリックする **■ Windows XPの場合** ❶スタート▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を順にクリックする ・「プログラムの追加と削除」ウィンドウが表示されます。 ❷「docomo L09C」を選択し、「削除」をクリックする ❸「OK」をクリックする ❹「OK」をクリックする

■ 無線LANのトラブル

症　状	チェックする箇所
無線LAN端末を接続できない	本端末と無線LAN端末の無線LAN機能がオンになっているかを確認してください。
	無線LAN端末に正しい事前共有キーが設定されているかを確認してください。（→P39） 本端末に設定した事前共有キーを忘れた場合には、「無線LANのセキュリティモードを設定する（Security）」（→P54）を参照して事前共有キーを設定し直し、再度接続の操作を行ってください。
	本端末がWPA2-PSK以外のセキュリティモードに設定されている場合は、接続する無線LAN端末にも同じ設定を行う必要があります。詳しくは、お使いの無線LAN端末の取扱説明書などを参照してください。
	WPS機能で接続できない場合は、お使いの無線LAN端末の取扱説明書などを参照し、本端末のWPS機能の設定（→P56 「WPS機能を設定する（WPS）」）を確認してから、再度接続の操作を行ってください。
	WPS用のPINコードが指定された無線LAN端末を接続する場合には、本端末のWPS機能の設定（→P56 「WPS機能を設定する（WPS）」）で「WPS PIN」が選択されているか、正しいPINコードが設定されているかを確認してください。

■ 通信時のトラブル

症　状	チェックする箇所
通信できない	サービスエリア内で電波が届いていることを確認してください。
	ドコモUIMカードに暗証番号が設定されている場合は、設定ページにログインして、PIN1コードを入力してください。（→P50）
	本端末設定と接続先（APN）登録を確認してください。
	電波状態によって、インターネットに接続できない場合があります。その場合には、本端末の電源をいったん切り、再度電源を入れてください。
	本端末を使用してインターネット接続しているときには、他の通信機器は切断されていることをご確認ください。

■ 海外利用に関するトラブル

症　状	チェックする箇所
海外で通信できない（アンテナマークが表示されている場合）	WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。
海外で通信できない（圏外が表示されている場合）	国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
	ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 •「Searching network」を「Auto」に設定してください。（→P71） •「Profile」の設定を確認してください。（→P59）
	本端末の電源を切った後、再度電源を入れることで回復することがあります。

症　状	チェックする箇所
海外で利用中に、突然通信できなくなった	利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス （WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

■ データ管理に関するトラブル

症　状	チェックする箇所
データ転送が行われない	USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ その他トラブル

症　状	チェックする箇所
急に動作しなくなった	本端末にドコモUIMカードを正しく挿入していますか。（→P22）
	周辺機器や他のソフトウェアをインストールしたことなどによりパソコンの環境が変わった可能性があります。お使いの周辺機器、またはソフトウェアの製造販売元、メーカにご確認ください。
急にインターネットの速度が遅くなる	LTE/W-CDMA/HSDPA/HSUPAのサービス環境が不安定な地域では速度が遅くなることがあります。他の場所に移動して再度接続してください。
	Windows XPで通信を行う場合、パソコンの通信設定を最適化する必要があります。USB接続ケーブル L01で本端末とパソコンを接続してドライバをインストールしてください。
リアカバーL27が外れた	リア部の溝にリアカバーL27を合わせてスライドさせ、カチッと音がするまで押し込んでください。（→P20）

こんな表示が出たら

設定ページ（L-09C Connection Manager）使用時に次のメッセージが表示されることがあります。

エラーメッセージ	説　明
入力されたパスワードは正しくありません。	ログイン時に、入力したパスワードが間違っています。[OK] をクリックし、正しいパスワードを入力してください。
入力されたPIN codeは正しくありません。	入力したPIN1コードが間違っています。[OK] をクリックし、正しいPIN1コードを入力してください。
PIN codeがブロックされました。	PIN1コードの入力に3回失敗したため、PIN1コードがロックされました。[OK] をクリックし、[PUK code] にPINロック解除コードを入力して、[Apply] をクリックしてください。
入力されたPUK codeは正しくありません。	入力したPINロック解除コードが間違っています。[OK] をクリックし、正しいPINロック解除コードを入力してください。
PUK codeがブロックされたため、ドコモUIMカードは使用できません。	PINロック解除コードの入力に10回失敗したため、ドコモUIMカードがロックされました。ドコモの窓口までお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

- 修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
    ・接着剤などにより本端末に装飾を施す
    ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、無線LAN用のMACアドレス、事前共有キー（WPA2 shared key）、SSIDなどが変更される場合があります。
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェア更新

本端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードして、ソフトウェアの更新を行います。
本端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、本端末の機能・操作性を向上させることができます。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページの「お客様サポート」にてご案内させていただきます。
ソフトウェア更新のチェック方法には、「自動」と「手動」の2種類があります。

- 自動：ログインするごとに、ソフトウェア更新確認のメッセージが表示されます。
- 手動：更新したいときに手動でチェックを行います。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に設定したデータを残したまま行うことができますが、新規バージョンのデータ形式などの変更により、設定データが初期値に変更されることがあります。また、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。設定データはバックアップを取っていただくことをおすすめします。
（→P64）

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通信中
  - ドコモUIMカードが未挿入のとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 「圏外」が表示されているとき
  - 電源が入っていないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、通信機能および、その他機能を利用できません。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様の端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

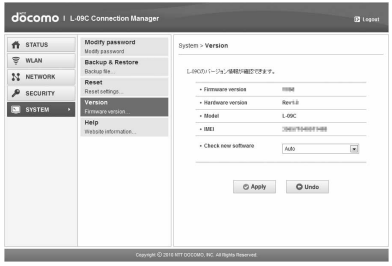
チェック方法を設定する

1 パソコンから本端末の設定ページにログインする

詳しくは、「設定ページ（L-09C Connection Manager）にログインする」（→P50）を参照してください。

2 トップメニューの[SYSTEM]をクリックする

3 サブメニューの[Version]をクリックする



4 [Check new software]にチェック方法を設定する

Auto：　更新チェックが自動で行われるようになります。
更新データがある場合には、パソコンの画面上に更新を知らせるメッセージが表示されます。

Manual：更新チェックを手動で行うことができます。
[Check now] をクリックして、更新チェックを行います。
更新データがある場合には、パソコンの画面上に更新を知らせるメッセージが表示されます。

5 [Apply]をクリックする

ソフトウェアを更新する

パソコンの画面上に更新を知らせるメッセージが表示されたら、表示されたURLのホームページにアクセスし、以下の操作でソフトウェアを更新してください。

お知らせ

- ソフトウェアの更新は必ず Windows パソコンで行ってください。Macで更新することはできません。
- 本端末ではLGMobile Support Toolを利用してソフトウェアを更新します。
- ソフトウェア更新前に、本端末とパソコンをUSB接続ケーブル L01で接続してください。

1 パソコンの画面上に更新を知らせるメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする

LGMobile Support Toolをインストール済みの場合は[キャンセル]をクリックしてからLGMobile Support Toolを起動し、手順3以降の操作を行ってください。

2 ホームページからLGMobile Support Toolをダウンロードしてインストールする

3 [ソフトウェア更新開始] をクリックする

ソフトウェアのダウンロードが開始され、ソフトウェア更新が行われます。

4 ソフトウェア更新が完了したら、[終了]をクリックする

5 [はい]をクリックする

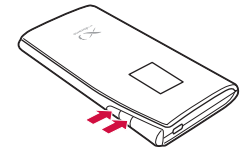
次の画面で「お使いの端末は最新のバージョンのためソフトウェア更新の必要はありません。」と表示されることを確認してください。

本端末をリセットする

本端末をリセットしてお買い上げ時の状態に戻すには、以下の操作を行います。

1 WPSボタンとWi-Fiボタンを同時に約15秒押す

ディスプレイに「RESET」と表示され、本端末がリセットされます。



主な仕様

■ 本体

品名		L-09C
サイズ（H×W×D）		約122mm×約64mm×約15.9mm
質量		約156g（電池パック装着時）
外部メモリ		microSD 2GBまで microSDHC 32GBまでに対応 （2012年1月現在）
連続通信時間	LTE	約6時間
	3G（HSDPA/HSUPA、W-CDMA）	約8時間
連続待受時間		約210時間
充電時間		ACアダプタ：約300分 USB：約390分
画面部分	方式	有機EL
	サイズ	約1.2inch
	画素数	128×96
通信方式		WAN：LTE/HSDPA/HSUPA/W-CDMA 無線LAN：IEEE802.11b/g/n※1
通信速度※2※3※4※5		パケット通信： 受信最大37.5Mbps 送信最大12.5Mbps （Xiエリア内一部の屋内施設では受信最大75Mbps、送信最大25Mbps）※6※7

※1 IEEE802.11nは2.4GHzのみ対応します。

※2 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

※3 Xiエリア外のFOMAハイスピードエリアにおいては、受信最大7.2Mbps／送信最大5.7Mbpsの通信となります。

※4 FOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。

※5 Xiエリア外およびFOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。

※6 Xiエリアの帯域幅により規格上の通信速度は、受信速度（帯域幅［20/15/10/5MHz］）：100/100/75/37.5Mbps、送信速度（帯域幅［20/15/10/5MHz］）：50/37.5/25/12.5Mbpsとなります。

※7 Xi対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。

・ 連続通信時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通信に使用できる時間の目安です。

・ 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。

・ データ通信を行うと通信・待受時間は短くなります。

・ 充電時間は、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 電池パック

品名	電池パック L13
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	2700mAh

■ ACアダプタ

品名	ACアダプタ L02
入力	AC100−240V 500mA 50/60Hz
出力	DC4.8V 1000mA

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

European Union Directives Conformance Statement

CE Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

CE 0168 The above gives an example of a typical Product Approval Number.

FCC Regulations

Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Change or Modifications that are not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

Class B Compliance

This device and its accessories comply with part15 of FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions:

- This device & its accessories may not cause harmful interference.
- This device & its accessories must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Body-worn Operation

This device has been tested for typical body-worn operations with the distance of 0.19inches (0.5cm) from the user's body.
To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.19inches(0.5cm) must be maintained from the user's body.

Consumer Information on SAR (Specific Absorption Rate)

THIS DEVICE MEETS THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

※ Tests for SAR are conducted using standard operating positions specified by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power outputs.

Before a device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (e.g., worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this device when worn on the body is 1.10W/kg.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Gant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID BEJL09C. Additional information about Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications Industry Association (CTIA) web-site at http://www.ctia.org/.

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などをすることはできません。

商標について

- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「mopera」「mopera U」「WORLD WING」「Xi／クロッシィ」および「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

- Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Certified®、WPA™、WPA2™とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- PSPは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- ニンテンドー DS、ニンテンドー DS Lite、ニンテンドー DSi、ニンテンドー DSi LLおよびニンテンドー Wi-Fiコネクションは、任天堂の商標または登録商標です。
- NINTENDO DSは、任天堂の登録商標です。
- iPod Touch、iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

索　引

ア

暗証番号 23
　PINロック解除コード（PUK） 23
　PIN1コード 23
オプション・関連機器のご紹介 74
主な仕様 83

カ

海外利用
　海外通信事業者の検索 70
　海外で利用する前の確認 69
　海外で利用できる通信サービス 68
　国際ローミング（WORLD WING） . . 68
外部接続端子 20
各部の名称と機能 20
基本情報 52
故障かな？と思ったら 74
こんな表示が出たら 78

サ

材質一覧 13
充電 34
　充電時間 35
　使用時間 35
　パソコンを使って充電する 36
　ACアダプタを使って充電する 35
充電ランプ 20
商標 86
初期化 65, 82
ストラップ取り付け穴 20
接続先設定 59
設定データの保存／読み込み 64
設定ページ
　（L-09C Connection Manager） . . 50
　対応ブラウザ 50
セットアップ 38
　対応OS 38
　動作環境 38
ソフトウェア更新 80

タ

知的財産権 86
ディスプレイ 20, 21
電源ボタン 20
電源を入れる／切る 36
電池パック 32
　取り付けかた 32
　取り外しかた 33
問い合わせ先 66
ドコモUIMカード 22
　暗証番号変更 61
　取り付けかた 22
　取り外しかた 22

ハ

バージョン情報 65
ファイアウォール 62
保証とアフターサービス 79
本体付属品および主なオプション品 1
本端末から利用できる通信 24
　無線LAN 24
　Xiデータ通信／FOMAパケット通信 . . 25

マ

無線LAN基本設定 53
無線LANセキュリティモード 54
無線LAN接続状態 58
無線LAN端末を接続する 39
　ニンテンドー DSを接続する 43
　iPadを接続する 42
　iPod touchを接続する 43
　Macを接続する 41
　PSPを接続する 44
　Windowsパソコンを接続する 39
　WPS対応の無線LAN端末を
　　接続する 45

ヤ

輸出管理規制 84

ラ

リアカバー 20
リセット 65, 82
ログインパスワード変更 63

英数字

CE 84
DHCP 57
European Union Directives
Conformance Statement 84
FCC Regulations 85
MACアドレスフィルタリング 56
microSDカード 26
取り付けかた 27
取り外しかた 28
PIN lock 60
Ping 63
Profile 59
uPnP 58
USB接続ケーブル 29
取り付けかた 29
取り外しかた 30
Wi-Fi auto off 54
Wi-Fiアンテナ 20
Wi-Fiボタン 20
WPS 56
WPSボタン 20
Xiアンテナ 20

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
パソコンから　**My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き**
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

◎こんな場合は必ず本端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ず本端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、本端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

■ 運転中の場合
運転中の本端末のご使用は、安全走行の妨げとなり危険です。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **113**(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***(無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***(無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された本端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ

製造元　LG Electronics Inc.

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion00

'12.1 (2.1版)
MFL67236501